



CSSテクニック

Blog デザインをスマートフォンにかっとばそう!

第4回 写真の貼り方に工夫をする

ブログと言えば文字ベースのものが多いと思いますが、モブログをはじめとした写真ベースのブログサイトも最近は増えてきています。中には自作のイラストを毎日掲載している『イラログ』なんていうのも出てきたようです。ブログに掲載する画像も、他のHTML要素と同様に、CSSを使って見た目を変えることができます。そこで今回は画像の表示を工夫するCSSテクニックを紹介します。CSSでちょっとした細工をすることで、画像をより引き立てることもできます。CSSだけでできるちょっとしたものから、額縁風の画像を組み合わせたものまでいろいろ用意したので、あなたのサイトに合うテクニックを試してみてください。

by スタイルシート・スタイルブック

<http://www.stylesheet-stylebook.com/>

主宰者の執筆したCSSの書籍『スタイルシート・スタイルブック』(翔泳社刊)の発売と同時にオープンした、CSSをみんなで楽しく学べるコミュニティーサイト。通常のサイトとは別に『情報交換広場』というページも増設されました。Wikiで作られていて誰でも気軽に情報を書き足すことができます。あなたのCSS情報もぜひ書き込んでみてください。



今月のイケてるCSSデザインサイト

カッコいいデザインをたくさん見てセンスや技を学ぶのが、デザインカアップの第一歩!

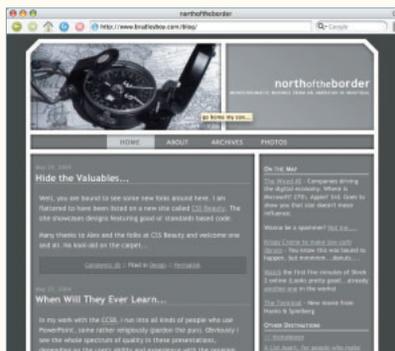
1

目に優しいデザインを考える

northoftheborder

<http://www.bradleyboy.com/blog/>

白背景に黒文字のサイトは多く、一番見やすい配色のように感じます。しかし、白色の部分が多いとモニターからの発光が強く目が疲れやすいという人もいます。このサイトは、目が疲れにくくて意外に読みやすい、グレーに白字という配色になっています。白のラインが効果的に使われていて非常に使いやすくなっています。最小限のアプローチが最大限の効果をもたらす好例ですね。



意外と目に優しい色のバランスとシンプルなデザインがポイント。

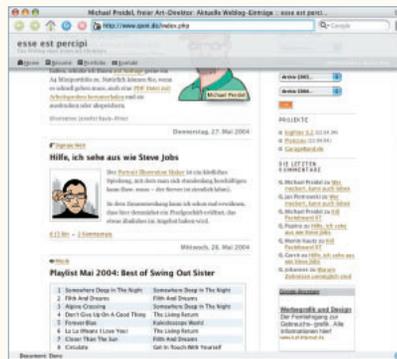
2

PNGがあなたを揺るがす

esse est percipi

<http://www.qxm.de/>

今回の講座にも登場するPNGはフルカラーの自然画に透明度も加えることができるフォーマットで、うまく使うとこのサイトのようにヘッダーと文章を重ね合わせて奥行きのあるデザインを作れます。残念ながらウィンドウズ版のIEは透明度をサポートしていないので、スクリーンショットのようにはいきませんが、レイアウトを崩さないで回避する方法があるので実装は可能かもしれません。



PNGの透明度をうまく使ったサイトデザインになっている。

イケイケデザイン&テクニック募集中

あなたのイケてるブログサイトやCSSテクニックを募集しています。「いいデザインができたかも」と思ったら、ガンガン応募してください。イケてるデザインやテクニックは、このコーナーで紹介しします。みんなで参考にし合っておもしろいサイト作りましょう! 応募先: im-ikeike-css@impress.co.jp(スタイルシート・スタイルブックのサイトでも募集しているよ)



普通の画像を写真のように見せる

1

borderとpaddingを使った写真風の縁取り

by 長谷川恭久



CSSの魅力はなんと言っても、CSSファイルに加えた編集がサイト全体にすぐ反映されることでしょう。たとえば、すでにブログサイトに掲載している画像の見た目を、CSSを使えば一度にすべて変更できるのです。

昔は銀塩カメラで撮影したフィルムを現像してプリントしてもらおうと、白い縁の入った写真ができあがったものでした。これと同じ効果をCSSで作ってみましょう。このテクニックは、特別なHTMLコードを追加しなくてもすぐに実装できます。

HTML

```
<div class="entry">
<p>さすが世界中を旅行し
ているだけあってクリスは世界中の女性とデートしている。「ア
メリカにいるキューバ人は金がかかりすぎ」とか「韓国人は今
は愛してくれていても明日になれば殺しにやってくる」とか
いろんな格言を僕に炸裂させたのであった。</p>
</div>
```

CSS

```
.entry img{
background: #fff;
border-top: 1px solid #ccc;
border-right: 1px solid #666;
border-bottom: 1px solid #666;
border-left: 1px solid #ccc;
float: left;
margin: 0 1em 1em 0;
padding: 10px;
}
```

CSSテクニックのキモ

今回のポイントは、paddingプロパティです。paddingプロパティは、コンテンツエリア(今回の場合では画像部分)と、コンテンツを囲む枠線の間にすき間を作ります。これを使って写真の縁取りのように見せています。また、borderプロパティで左上と右下に別々の枠線の色を設定することにより、立体的に見せるように工夫しています。

ただし、忘れてはならないのがbackgroundプロパティでの背景色の指定です。paddingで空けたすき間の色は背景色になる

ので、必ず何か色を指定しておきましょう。指定しないとサイトの背景色と同色になってしまいます。

写真風の縁取りとは直接は関係ありませんが、今回の例では写真の右側に文章が表示されるように「float: left」を設定しています。また、写真と文章の間に少し間隔を空けておくためにmarginプロパティも指定しています。marginを入れておかないと、写真と文字がくっついて読みにくくなってしまいます。

写真と言っても毎回大きさがさまざまなのは

ですが、この方法を使えば柔軟に写真風の見た目にできます。今回、entryクラスの中にある画像すべてに対して見た目を変えるという方法をとりましたが、細かく設定したい場合は画像に「class="frame"」のようにクラスを指定して、そのクラスに対して上記のCSS設定をするのがいいでしょう。

なおこの方法はウィンドウズ版のIE 5.0とIE 5.5では白い間隔がなく枠線だけになってしまいますが、レイアウトに支障が出ることはありません。

画像に影を付けて立体感を出す

2

backgroundによる影とposition: relative、left、topによるずらし技

by 長谷川恭久



写真風にだけでなく、影が付いている。いちいち画像ファイルを加工するのは大変だが、これもCSSで実現しているテクニックだ。

125ページでは画像に縁を付けて写真風に表示しましたが、今度はさらにそこから応用して、写真に影を付けてみましょう。影を付けることによって画像がより引き立ち、サイトデザインの良いアクセントになります。

このテクニックも、画像自体は編集することなく、画像の大きさにも依存しないCSSのテクニックとして実現しています。ただし、今回のテクニックは、HTMLにコードを記述してからの作業になります。

HTML

```
<div class="img-frame"></div>
<p>この会社の名物といえばHappy Hourという時間で.....</p>
```

CSS

```
.img-frame {
  margin: 0 1em 1em 0;
  background: url(shadow.gif) bottom right;
  float: left;
  width: auto;
}
```

```
html>body .img-frame {
  background: url(shadow.png) bottom right;
}
```

```
.img-frame img{
  background: #fff;
  border: 1px solid #999;
  padding: 5px;
  position: relative;
  left: -7px;
  top: -7px;
}
```

CSS テクニックのキモ

ポイントは、写真となる画像をブロックレベル要素内(今回は<div>ですが<p>でも可)に配置して、そのブロックレベル要素の背景として、影の画像をCSSで設定する点です。

影となる背景画像として、GIFとPNGの2種類のフォーマットのファイルを指定しています。PNGは半透明にできるので影のような微妙な色合いの画像を作るには最適ですが、ウィンドウズ版のIEではPNGがまだ完全にはサポートされていません。そこで、ウィンドウズ版IEをだます形でPNGとGIFの両方

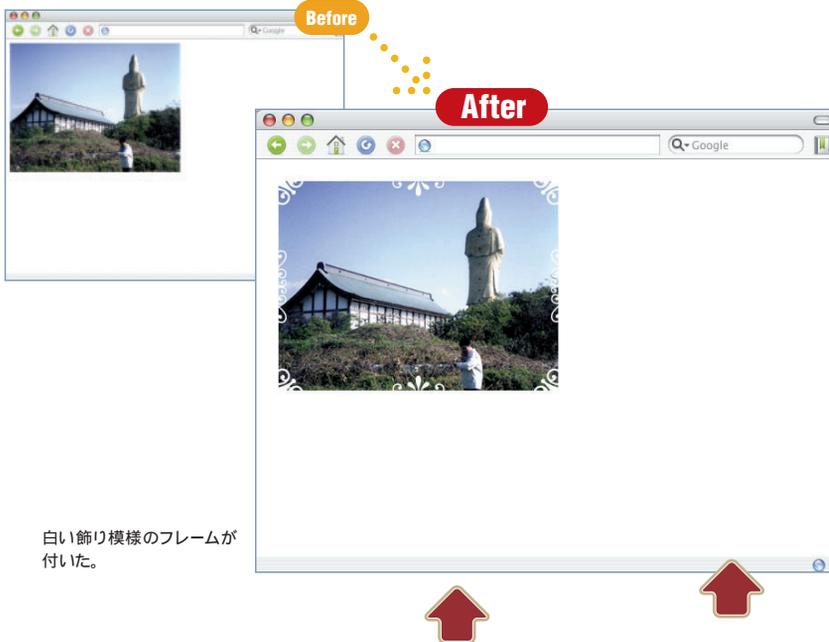
を指定しています。具体的には、最初にすべてのブラウザが理解できるGIFの影を設定しておいて、次に「>」「結合子」と呼ばれています)を使ってPNGの影を指定しています。ウィンドウズ版のIEは「>」を使ったスタイルを読み込めないので、GIFだけを読み込み、結合子による指定を理解できるブラウザは後から指定されたPNGを読み込むというテクニックです。

影の画像は、あらかじめ非常に大きなサイズで作っておくことで、極端に大きな画像で

なければ柔軟に対応できるようにしています。

また、影を画像の右下に配置するための「bottom right」の指定も大切です。

さらに、そのままだと写真の画像と影が完全に重なってしまうので、画像のCSS設定で「left: -7px」「top: -7px」を指定して画像を左上へ少しずらします。そのときに、親要素にあたる「.img-frame」のボックスから相対的にずらすために「position: relative」も記述しておきましょう。左上にずらす値は影の大きさによって異なるので各自で調整してください。



白い飾り模様のフレームが付いた。

すでに紹介した2つのテクニックは異なる大きさの写真にも柔軟に対応できるものでしたが、こちらはあらかじめ固定した大きさの場合にのみ有効です。

とは言うものの、モブログの写真など常に一定の大きさのものを掲載するときに今回のような方法は非常に使えるはずです。今回は2つの画像を重ね合わせることであかも画像をオリジナルの額縁に取り付けたように見せる方法です。額縁となる画像はCSSで管理するので気分によってどんどん額を替えることも可能です。

HTML

```
<div class="photo"><span></span></div>
```

CSS

```
.photo {
  height: 240px;
  position: relative;
  width: 320px;
}
```

```
.photo span{
  background: transparent
             url(frame.gif)
             no-repeat 0 0;

  height: 100%;
  position: absolute;
  width: 100%;
}

html>body .photo span{
  background: url(frame.png)
             no-repeat 0 0;
}
```

CSS テクニックのキモ

まずは画像の大きさを決めるボックス要素をHTMLで配置します。widthとheightを設定しておくのを忘れてはいけません。その中に、次いで画像という順に記述していますが、今回のテクニックのポイントは、このの部分です。タグ以外には何も記述されていないので意味がないと思いかもかもしれませんが、実はこのCSS設定に額縁となる画像が隠れているのです。

まずに対してCSSで縦横を100%に指定しています。これはの親要素

にあたる「photo」クラスの大きさに対して100%を意味しています。これでが画像の大きさとまったく同じ大きさで上に覆い被さるように配置されるわけです。

背景画像の設定も「transparent」にすると、左上から配置するように「0 0」と記述するのも忘れずに。

が画像より先に記述されているのも、『画像の上に被さる』ように見せるためです。画像の後にを記述するとこの効果が得られないので注意しましょう。

ここでも前回のテクニックと同じようにGIFとPNGのフォーマットをそれぞれ用意して対応しています。今回の例のように何か装飾を入れてもいいですし、PNGの特徴である半透明や影をうまく組み合わせれば、さらにおもしろい効果が得られるかもしれません。このテクニックはIE 5.0のような比較的古いブラウザでも問題なく表示できるのでおすすめなのですが、「」のように空タグを使うので、構造デザインにこだわるのであれば控えたほうがいいかもしれません。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp